

熊谷市地域再生計画（ラグビーによるまちづくり事業）工程表

初年度（平成28年度）

1	ラグビー応援団サイトの開設	ラグビータウンくまがやのサイトを開設し、熊谷ラグビー場の試合日程等のラグビー情報とまちのお得な情報を発信する。
2	小学生タグラグビー教室の開催	小学校5年生の全小学校のカリキュラムに組み込み、アルカスクイーン熊谷の選手等による指導でタグラグビーを体験する。
3	ラグビー講座の開催	ラグビーへの理解を深めるために、ラグビーのルール、見どころ等のポイントを解説する市民講座を開設する。
4	ラグビーイベントの開催	パブリックビューイングやラグビー体験等のイベントと合わせ、有名大学やトップリーグの試合を開催する。
5	合宿所拡大整備	スポーツ施設を有する「くまぴあ」のセミナーハウスを合宿所に改修し、合宿所の収容人数を37人から100人に拡充する。

2年目（平成29年度）

1	ラグビー応援団サイトの運営	継続
2	小学生タグラグビー教室の開催	継続
3	スポーツツーリズムの誘致	熊谷ラグビー場も有する熊谷スポーツ文化公園での試合観戦や「くまぴあ」での社会人・学生チームの合宿等を誘致する。
4	観客輸送計画の策定	熊谷駅を起点としたラグビー場等への公共交通を見直し、中心市街地へ誘導する計画を策定する。
5	ラグビーワールドカップ開催に係るファンゾーン計画の策定	熊谷の地域資源・特産品等のアピールを中心に市街地等の商業者の連携で、効果的なエリア設定やおもてなし等の計画を策定する。

3年目（平成30年度）

1	ラグビー応援団サイトの運営	継続
2	小学生タグラグビー教室の開催	継続
3	スポーツツーリズムの誘致	継続
4	ラグビーイベントの開催	ラグビー体験等のイベントと合わせ、有名大学やトップリーグの試合を開催する。
5	観客輸送増強連節バスの導入	JR熊谷駅から熊谷ラグビー場までの輸送力を増強し、観戦者を増加させ中心市街地の核となるJR熊谷駅へ誘導する。
6	ラグビーロード改修	JR熊谷駅からラグビー場までのアクセス道路を、多言語表示の案内看板設置も含めた道路に改修する。

4年目（平成31年度）

1	ラグビー応援団サイトの運営	継続
2	小学生タグラグビー教室の開催	継続
3	スポーツツーリズムの誘致	継続
4	ラグビーワールドカップ開催に係るファンゾーンの運営	国内外から訪れる観光客に、中心市街地等の商業者が、特産品の販売、特産品を活用した新商品の販売を行う。